



くらはし

舞鶴市立倉梯小学校

学校だより

令和4年8月30日 No6

教訓から考える

暑さの厳しかった夏が終わろうとしています。40度近い気温がこの府北部でも何度もメディアで報道され「舞鶴も暑いみたいね」とよく言われました。感染者数も同様です。新学期を迎え、自宅で病気と闘っている子ども達やご家族のことを思うと心が痛みます。1日も早いご回復を願っています。

この夏に、見直したものがいくつかあります。1つは本年度の経営計画の進捗状況です。1学期を振り返りながら不十分だったところを改善していこうと思いました。もう1つは様々な方針です。大きな事件が起きた後、必ずその検証がされます。その過程の中で根拠となるのが提出されている「方針」や「計画」と呼ばれるものです。しかし何事も起きないことが続くとは形骸化してしまうこともあるようです。国内の事件でもその結果が詳細に報道されていました。学校にも「いじめ防止基本方針」「危険等対処要領」「避難訓練実施要項」など子ども達の安全を守るための指針や計画がたくさんあります。また、教育活動を通して子ども達にどんな力を付けるのかをまとめた「教育計画」というものもあります。これらを「書いてあるけれどできていないものはないだろうか」という視点で見直し、確認しました。

449人となった子ども達とともに始まった2学期。全ての児童が安全・安心な環境の中で成長できる「倉梯小学校」を目指していきます。今後とも教育活動にご協力をお願いいたします。

校長 亀井 貴子



琴クラブが「斗為布コンサート」に出演しました。(8・21)

8・9月「支えを力に」

今月は職員室前で咲いているマリーゴールドです。今夏の猛暑を乗り越えて、ほぼ満開の状態です。2学期のスタートを迎えることができました。毎朝夕に子育て協議会の方々に水やりをしてもらったり、児童クラブの子どもたちに世話をしてもらったりしてきたおかげです。



他にも図書室前のツルレイシや校庭のヒマワリなど学校には教育活動の一環として様々な植物が育てられています。数が多いので、水やり一つにしてもじょうろに水を汲んで、何度も往復する必要があり、なかなかの重労働です。学校の植物はこうしたたくさんの方々の根気強い関わりで花を咲かせ、実を結んでいます。「いろいろな人と関わりながら」「長期的に根気強く」人を育てることと大事なことはよく似ていると改めて感じました。

小中一貫コーナー 「あおばの風」

学校には近隣の幼稚園や子ども園、保育園からのおたよりも届けられます。その中に気になった記事がありました。それは「玉入れ対決から学ぶもの」という園児たちの成長の足跡です。「玉入れをしたい」という園児の願いと「子ども達にこんな力を付けたい」という担任の先生のねらいがうまく組み合わせられ、園児と先生が試行錯誤しながら「玉入れ」という競技を作り上げていくものでした。

締めくくりに「そこから学んだことは必ず人生の役に立ってくると…」とありました。小中一貫教育で目指そうとしているものの原点がここにありました。

ホームページ情報

夏休み

- ・アルミ缶回収で本の購入 8/2
- ・青葉中学校ブロック研究会 8/3
- ・斗為布コンサート出演(琴クラブ) 8/21
- ・子育て支援協議会 花の世話 8/22
- ・4年生 ゴーヤの成長 8/22
- ・社会教育団体美化活動 8/28



倉梯小HP